

地域子ども・子育て支援事業内容説明

地域子ども・子育て支援事業とは、市町村が地域の実情に応じて、市町村子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業です。

座間市では、合計9事業を実施しており、事業の概要は以下の通りです。

（１）延長保育事業

やむを得ない理由により、保育時間を延長して児童を通常の利用日及び利用時間帯以外において、保育所、幼稚園等で引き続き保育を実施し、安心して子育てができる環境の整備、児童の福祉の向上を図ることを目的とします。

（２）放課後児童健全育成事業【児童ホーム】

女性の就業割合の高まりなど、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援することを目的とします。

（３）乳児家庭全戸訪問事業【こんにちは赤ちゃん事業】

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる。

このようにして、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的とします。

（４）養育支援訪問事業

乳児家庭全戸訪問事業等により把握した、養育を支援することが特に必要と認められる児童又は出産前において養育を支援することが特に必要と認められる妊婦に対し、養育が適切に行われるよう、自宅において養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とします。

（５）一時預かり事業

保育所等を利用していない家庭において、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合または、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するための支援が必要とされる場合に、保育所、幼稚園、その他の場所において児童を一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的とします。

（６）地域子育て支援拠点事業

少子化や核家族化の進行などにより、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とします。

（７）病児保育事業

保護者の就労等により病気の児童の保育が困難な場合、病院・保育所等において児童を一時的に保育し、安心して子育てができる環境の整備を目的とします。

（８）子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業】

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、早朝・夜間等の緊急時の預かりや、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズへの対応を図ることを目的とします。

（９）妊婦健康診査

妊娠期間中必要に応じた医学的検査を実施すると共に、妊婦とおなかの赤ちゃんの健康状態の把握、保健指導を実施し健康の保持及び増進を図ることを目的とします。